

重粒子線治療を受けられた皆様へ

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂くことが必要です。量子科学技術研究開発機構QST病院では、上記のような目的で以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究では、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 重粒子線治療の医療経済的調査に関する研究

[研究実施期間] 許可日～2022年12月31日

[研究機関] 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院

[研究責任者] 辻 比呂志

[研究の目的] この研究の目的は、重粒子線治療の医療経済性について調査研究を行うことにより、重粒子線治療施設の安定経営のための保険評価を探るとともに、今後の診療報酬改定に関する基礎資料を作成することです。

[共同研究機関] 東京大学大学院 医学系研究科（責任者：医療経済政策学 田倉 智之）

[研究協力機関] 群馬大学医学部附属病院、神奈川県立がんセンター、兵庫県立粒子線医療センター、九州国際重粒子線がん治療センター、大阪重粒子線センター

[研究の方法]

●対象となる方々

2018年4月から2020年3月までに重粒子線治療を受けた方。

●利用する情報

カルテに記録された診療行為、検査や治療の内容から算出される重粒子線治療に関連する医療費

現在までに得られたデータを情報取扱いの安全管理された電子システムにより集計します。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

患者様の権利と安全を守り、データの信頼性を確保するために、専門家がカルテを確認することはあります。集計されたデータは匿名化された上で東京大学大学院医学系研究科の研究者と共有されます。研究成果は、誰の情報であるかがわからない状態で発表します。個人名などが表に出ることは絶対にありません。（研究機関が規定する個人情報保護規程等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST病院 事務課

電話：043-206-3306（平日；9：00～17：00）

